婦人新報

第三百二十九號

大正十四年七月十日發行（每月一回一日發行）

我らの目標

世界の

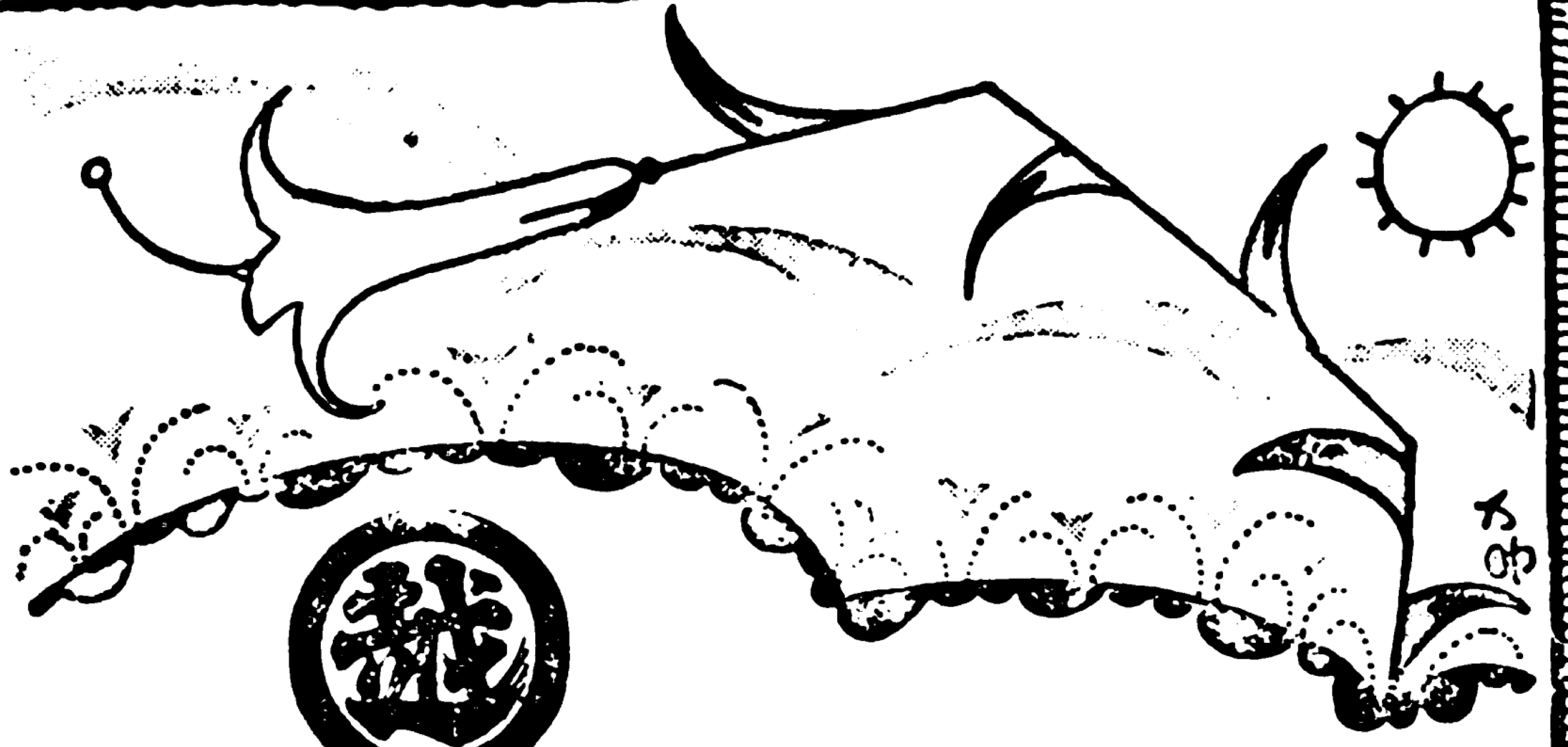
禁酒・純潔・平和

七月號

矢島先生逝く　久布白落實
全國的政治教育の必要　久布白落實
第八回全國社會事業大會瞥見記　おちみ
第十二回廓清會大會　NOK
このごろ　守屋東
仕事をして見て　元山龍之介
「トーチベアラー」を讀みて（四）　ガントレット恒子
力（座右銘）　ガントレット恒子
言はずもがなのこと　阿蘇の少女
近況申上ます　林歌子
英文欄　エー・エム・ビンセント

基督教婦人矯風會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



御中元大賣出し

……………御贈答用には三越の品……………

御中元の御贈答品は何方様にも喜ばれる三越の品を御用ひ遊ばすに限ります。三越では御選擇の御便宜の爲め『御中元大賣出し』を開催致します何卒御用命の程御願ひ申し上げます

七月の三越

◆中元格安な物賣出し……（一日より十五日まで）
◆中形浴衣地陳列會（[illegible]日より）
◆夏季用家具新製品陳列會（[illegible]日より）
◆全國メロン品評會……（[illegible]）
◆神奈川縣名産品陳列會（[illegible]）
◆主催現代大家新作展覧會……（[illegible]）

商品券

御贈答の品は何とでも御引換が出來ますから贈るに便利、受けて重寶

東京市 **三越呉服店** 駿河町

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

冨士 第一巻

徳富健次郎
徳富愛 著

（第三十一版）

並製
四六判九ポイント組六百六頁
月光色リンネット薄表紙箱入
本文用紙コットン紙（西洋奉書）
定價金貳圓・送料書留廿錢

特製
四六判九ポイント組六百六頁
日光色染鹽瀬表紙三方金箱入
本文用紙コットン紙（西洋奉書）
定價金五圓・送料書留廿六錢

特製壹千部を限り著者署名

新春

徳富健次郎著

（第六十五版）

三六判九ポイント組五百卅六頁
緞金装羽二重表紙天金箱入
著者スケッチ・三色版二葉
特撮寫眞版四葉
定價貳圓卅錢・送料書留廿錢

版元 東京京橋 銀座新橋 福永書店 振替東京四〇四六六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第三百二十九號目次

矢島先生逝く……久布白落實……六

全國的政治教育の必要……久布白落實……九

第八回全國社會事業大會瞥見記……おちみ……一三

第十二回廓清會大會……N. O. K……一六

海外——時事……一七

このごろ……守屋東……一九

仕事をして見て……元山龍之介……二四

「トーチベアラー」を讀みて(四)……ガントレット恒子……二六

力……ガントレット恒子……三〇

言はずもがなのこと……阿蘇の少女……三三

近況申上ます……林歌子……三五

本部日誌抄……(三五)……本部だより……(三六)……活動……(三八)

英文欄……エー・エム・ピンセント

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

FUJIN SHIMPO

No. 329 CONTENTS July 1925

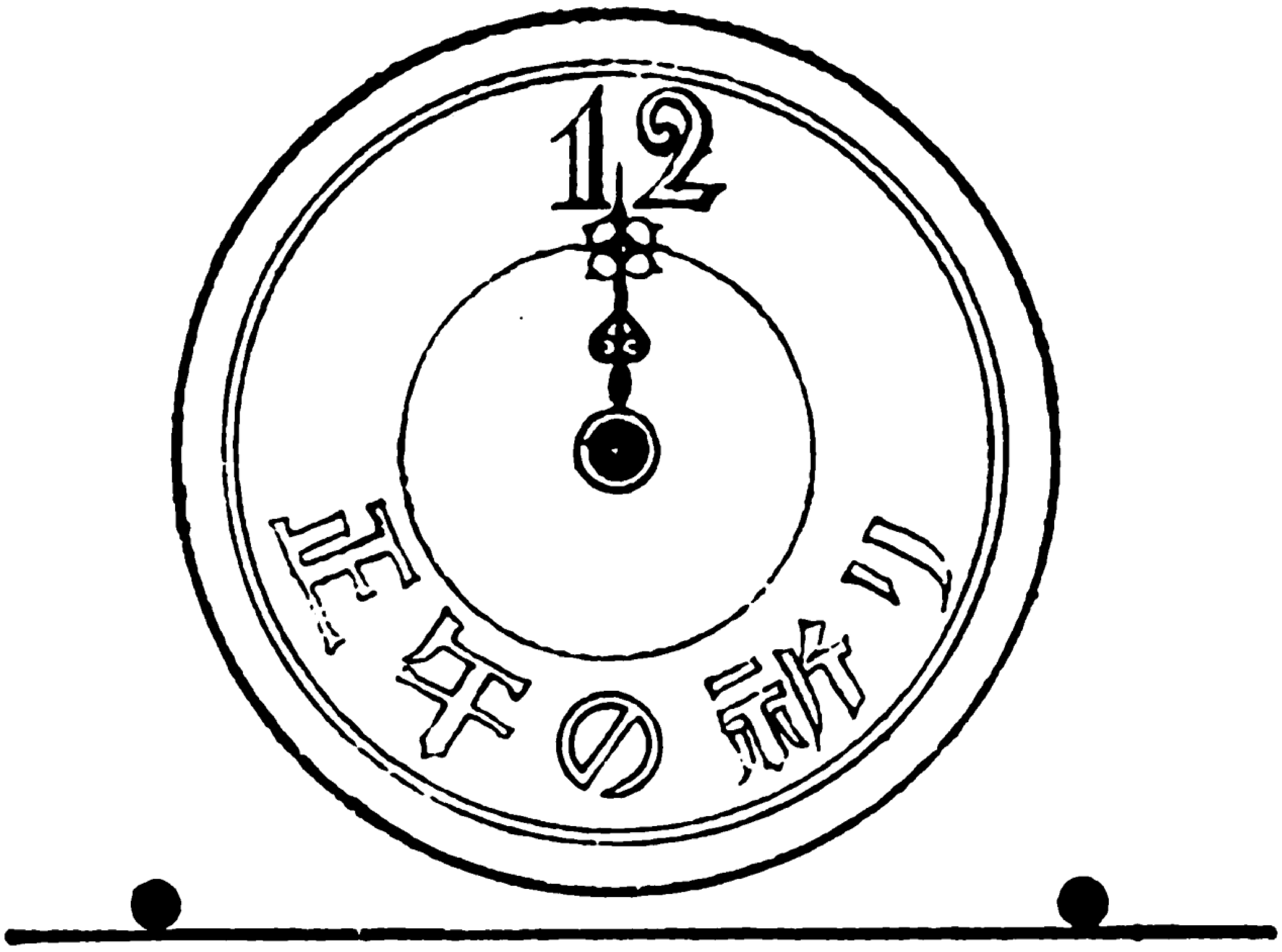
1. Passing away of Madam Yajima.......Mrs. O. Kubushiro.
2. Necessity of political training..........Mrs. O. Kubushiro.
3. Notes on "the Eighth Convention of the National Social Welfare Association... ....N. O. K.
5. On the "Twelfth Convention of Purity Association."...
6. News from abroad. ....
7. My Diary...Miss. A. Moriya.
8. My thoughts on our work................Mr. R. Motoyama
9. Reading "The Torch Bearer."...... Mrs. C. T. Gauntlett.
10. Daily Readings "Strengths.".........Mrs. C. T. Gauntlett.
11. Leaf by leaf.................................A girl of Mt. Aso.
12. Correspondence. ....Miss. U. Hayashi.
13. From the diary (Headquarters.)................................
14. News from Headquarters. ....
Activities. ....
English Corner...................................... Mrs. Pinsent

□少年禁酒軍參考書類□
(禁酒軍設立に必要なる印刷物)

		單價	郵税
少年禁酒軍規則	進呈		2錢
同 案内	同		2
同 誓約書	十枚以内ハ進呈…二枚1錢		2
同 演説課規則	進呈		2
同 懸賞演説集 1. 2. 3.	調製中	.30	2
同 メタル(銀製七貫一個)		1.00	2
同 徽章(七貫一個)		.25	2
少年新報	月一回發行一年分30錢	2	2

東京市外大久保百人町三六〇
基督教婦人矯風會本部内
申込所　　少年禁酒軍本部
振替東京四七四五〇

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



誰か賢き女を見出すことを得ん、その價は眞珠よりも尊し。（箴言三十一－一〇）

艶麗はいつはりなり、美色は呼吸の如し、唯エホバを畏るる、女は譽られん。（箴言三十一－三〇）

義は國を高くし、罪は民を恥しむ。（箴言）

惡しき人の謀略にあゆまず、つみびとの途にたゝず、嘲るものゝ座にすわらぬものはさいはひなり、かゝる人はエホバの法をよろこびて日も夜もこれをおもふ、かゝる人は水流のほとりにうゑし樹の期にいたりて、實をむすび葉もまた凋まざるごとく、その作ところ皆さかえん。（詩篇第一篇）

矢島先生逝く

久布白落實

一

今年の大會に於ける目標地の内に、福島縣が在る、これは矯風會の種子が未だ下されぬ地である。福島に行かう」と私は願つて居た、川崎正子女史の令孃、貞子姉が其友人を彼地の一小都中村町に有せらし處から、三日の暇を以つて、二人は出掛けるととなつた、六月十二日の金曜日、珍らしく自身は、朝夕一同先生を訪ひ、左様ならを云ふ可く立ち寄つた。

然し同時に矢島女史の姪母、山内峯子姉が、同じくやむなき用事を以つてやはり三日の暇を得て、暇を告げらるゝに遭遇し、二人とも同時に「左様なら」を云ふ事を躊躇した。先生は此頃、「左様なら」が嫌いになつて居られたから、自分は終ひに、福島ゆきも川崎孃の初旅行も、何もかも歸つてからと、黙々として、いつもの「左様なら」の中に含めて、歸つて行つた。

二

翌、十三日、土曜日自分等は出かけた、中村町から、郡山市とあちこち五回ばかりの講演を終へ、望みの如く、福島縣に一ヶの支部を得て、今夜、十二時の汽車で出立と云ふ時、轉送された電報は、私の手に屆いた、十五日(月)の午後五時だつた。

「ヤジマセンセイ、キトク、タツコ」

矢島先生の危篤は一回ではない、先生は一種、「死せざる人」と云ふ氣が、一杯に抱かれて居た、然しタツコは矢島先生の娘矢島達子女史でなければならぬ、半身不隨の同女史だ。留守役のガントレット夫人は、出勤して居られぬか、同姉も亦病むかと云ふ懼れが、私を脅かした、然し、出立までに、未だ二つの講演の約束が有る、而して汽車は、十時でなければ

ない。凡べてを天に任せ、豫定行動をつゞけた。同夜九時半自身は獨り會場より馳せて、ステーションに着、東京ゆきの列車に搭じた。

三

十六日朝、未明に赤羽に着、大久保驛に着したのは五時そこ〳〵だつた、未だ一臺の車もなく、街並悉く閉ぢて居る、荷物をさげて、止むなくホームに足の限り急いだ、門に來るとこゝ丈けは皆起きて居る「唯今」と云つたきり、私はズンズン内に急いで離れまで來ると、元山姉が、私を迎へて「先生もとうとういけませんでした」との事だ。私は期待が裏切られた心地で内へ急いだ。

矢島寮は、肅然として居る。私は上に登つた、逹子姉の室を通り抜け、別室に移された先生の前に跪いた、先生は居られる！　平和其ものゝやうに安らかに眠つて居られる！然し私の「唯今」には應へられない、永遠に、應へられない！私は唯默して見つめた、不覺の涙が止め度もなく流れる、過去、現在、未來が、一度に胸の内で轉換する、あゝ先生！終に逝かれたか！

四

先生「キトク」でかけつけた事はこれで四度だ、死を恐れたのは三十年前からだ、十九の時始めて家を離れ、先生の下に寄遇した時から、先生の病には出合つて居る、然し、斃れては立ち、更に進む先生には、終に死の神が自ら離れてゆくやうだつた、蘇峰氏は「笑つて百歳の春を迎ふ」と云はれた、自分は心にそれを信じた守屋東姉も亦、今年は、南洋の旅に出る決心した。而して先生は又誰れにも、左樣ならなしに旅立たれた。

五

十四日の日曜が意識ある先生の最後だつた、この日竹上姉が見えて、先生は非常に元氣に、床に起きて、晝食を竹上姉と共にせられた、自身珍らしく箸を取つて食事された、何くれと物語りのついでに、一杯は末ひろがりに大君の惠みの露みちてあふるゝ」とまで口吟された、箸を收めて床につき、竹上姉が暇を告げて歸らるゝ時、御返事がなかつた、姉は不思議に思ひつゝ其まゝ歸られた、その後一時間は立たぬ内、看護婦が、先生の入歯のお掃除をしようとして、お口から取はづ

し、お入れしようとしてもどうしても入らぬ、先生はたゞ眠つて居られる、餘りにお眠りが深いので異狀はなきかと、驚いて、藤井醫士を招き、藤井氏は來つて常の如く、マッサーヂを爲し、舌をもマッサーチ、更に入齒を試ろみたが、どうしてもはまらぬ、又先生もやはり醒められぬ、昏睡は午後七時までつゞいた。而して先生は、はつきりと「ハヾカリ」と云はれたので、看護婦は二人で先生の望みのまゝに起こし常の如く用を足し、お寢かししたが先生は唯眠りつゞけられる。

藤井氏は、一時引き取つて歸られ、翌朝未明に再び來られたついで、稲岡博士、川原醫士も見えた、いづれも、何等施す術はない、然し常とは變つて居るとの診斷た、終ひにガントレット夫人に使を立て、徳富氏を招き、相談の上親戚、各支部へキトクの打電をした、先生の睡は刻々とつゞく、時々輕き痙攣と、數回の「アー」と聲高く云はれた聲が有る丈けだ。

この日は終日、會頭小崎氏副會頭ガントレット氏、藤井氏つき切りでつめて居られた、徳富蘇峰氏も夫婦連、鎌倉の矢島よし子姉、直一氏、其他親戚知友の誰れかれ、急報にて午後は山内輝氏も歸られた、昏睡につゞいた、更に深更に到つた、終ひに十六日午前一時十分。主治醫藤井氏に手を取られつゝ、會頭、副會頭、二人の娘、嫁、孫、義母、伊藤トミ子姉等、に前後左右を圍まれて、最後の呼吸を引き取られた。昏睡に陥られて二十一時間の後であつた。

六

私共はさきに遺言もきいた、私共は訣別もした、かういふ意味から云へば何も殘念な事はない、何一つ先生として思ひ殘される事もなかつたらう、然し何と云ふ物足らなさだらう、何と云ふ淋しさだらう、ガッカリしたと云ふのはこの事だ。

昔川合で水際の繁みで、大石を取り除けると、下から無數の小蟹大蟹がはひ出した事を覺えて居る、今の我々は、一寸この氣分がする、右するか左するか、縱横に皆唯動く、然し靜かに考へねばならぬ、内も外も、皆四十、五十の顔揃いぢやないか、若いと云つても大學にも行く連中だ、やらねばならぬ、今迄の永の歳月、薫陶された恩に報いねばならぬ、先生は三十年前、苦心奮闘、求められたこの慈愛館の邸内から天に赴かれた、創立者は、其永き輝く生と、其封印なる死とを以つてこの國家矯風の事業を今や永遠に守護して居る、隅の巨石は磐丈た、我等は、涙を拂つて、手をつなぎ合せ、先生の信ぜし神と共に心丈夫に、前進を繼續せねばならぬ。先生幸に瞑せよ。

（大正拾四年六月廿一日稿

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

全國的政治教育の必要

久布白落實

一

永い間の人々の希望であつた、普通選擧は出來ました、納税資格も徹廢され、神官、僧侶、學校教員等の制限も徹廢され、帝國臣民たる、廿五歳以上の男子は、選擧權を有す、と一律の下に、今日まで三百六十七萬人に限られて居た選擧權は、愈々一千一百萬にも增加すること〻なり、我が國の國民の、六分の一強は皆其權利義務を、共有すること〻なりました。

衆議員選擧法、百五十ヶ條より成る大きな法律も、愈々國民のものとなつたわけです、この場合、我々國民の一半を形成する婦人として、如何なる態度を以つて之に對しませう。

勿論この廣汎な百五十ヶ條の內には、婦人は悉く除外されて居ます、第二章、第五條の、

帝國臣民たる男子にして年齡二十五年以上の者は選擧權を有す

と云つた一ヶ條で、全然女子は、國民の圈外に投出された觀が有りますから、この法律は何等我等に關係なきものとして、棄て置く人も有るかも知れません、然し、男子の前後左右には、必らず女子あり女子の前後左右には、必らず男子あり、この男女は、取り離すことの出來ないものですから、普選が、家々を見舞ふと云ふ時には、私共一家の女主たるものは、これに對して無關心で居るわけには參りません。

二

政府はこの普選法を通過し得た、喜びと同時に、直ちに其準備に取りかゝつて居られます。小學、中學に於ける公民教育、其準備として、教員に對する公民教育の講習會など、それぐ準備されつゝある事を見聞いたします、固より之等の

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

事が一時に完全を期する事は出來ますまいが、然し歩一歩と、文部省、內務省一致して、國民の公民教育、政治教育に當らるゝ事と思ひます。かくなる上は、國民教育を受くる女生徒等も當然これを受くることゝ思ひます、然し、國民の感情が、若し、女子は一切政治等に容喙すべきものでないと云ふやうな考へに支配されて居るやうでは、この教育にさへも或ひは取殘られる憂がないとも限りませぬ、唯然し今日、その事は先づ無いものと見て、現今の場合この學校教育に浴し得ぬ多數の婦人、又已に從來の學校を出でゝこの教育を受くる機會を失せし婦人、即ち、廿歲後の婦人はいかにすべきか、一般の婦人をいかにすべきかと云ふ事です。

三

第一政治と云ふものに對して、根本思想に變化、或ひは進歩が來らねばならぬと思ひます。今日まで一般に政治として考へられた事は、政黨の爭でせう、自由黨などゝ云つた昔から今日の政友會、憲政會、中正クラブ、革新クラブと云つたやうな政黨の爭ひが政治である、と思はれる人も少なくないでせう、又、政治と云へば、金を使ひ、宣傳ビラをまき、戶別訪問をする選擧と思ふ人も有りませう、然しこれ等は說明する迄もなく唯政治の一方面に過ぎないのです。「政治は、政黨さわぎでなく唯又選擧さわぎでないとするなれば、何でせう、云ふまでもなく、政治は、我々の生活其ものでなければなりませぬ、即ち私共に生活の安定を與へる基礎、唯に生命財產の安全を保證する、警察權のみでなく、我等の職業より危險を除き、又失業の不安を除くもの、我等の收入に最低額を定めて、生活の必然的の墮落を未然に防ぐもの、母子の身體の保護、市町村の衞生設備、教育設備、道路、住宅、食糧等の保證、其他何々、と、凡べて日常生活を形成する事物、萬端に渡つて、今日の政治なるものは、其職責を有し又權利を有するものです、是等の生活の根本に對して執行權ある政治に向つて、我等の生活の根本を預る即ち一家の衣食住を管轄して行く婦人が、之の圈外に投げ出だされ、又これに對して無知である可く、餘儀なくせられし法は萬々ない筈であると申されませう。

四

それなれば如何にして之を婦人の知識となすか、小學校卒

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

業女學校卒業程度でも、閑な時に圖書館などで見る書物は、大部分お伽話か小説たと云ふやうな話をチラホラ耳にする事がありますか、かゝる事は皆無としても、政治、法律と云ふものを今日までの如く、出來る丈け難かしく、成る丈けわからぬ樣にしておく必要は無いと思ひます、ほんたうに物が熟してくれば澁い柿も甘くなる如く、むづかしい法律、政治も我が家の事として、何人にも解るやうに、說明も出來、又取扱はれ得ると信じます、要は今日まで、この世界は、女人入る可からずと云ふ禁制の地となつて居た爲めに、誰れも眞味に之を手に執つて、我がものとして考へた事の無いのが原因でわからぬものゝ標本として高い役人等が、澁面作つて、わざと繁雜な制度や、手續きを弄して、婦人のみならず一般人民を苦しめる道具となつて居た、觀が有ります。

私は政治が平民化する、民衆化すると云ふ場合には、卽ちこの政治に關する根本觀念の變化と共に、一般民衆がこれに對して、今日までの因襲的考へ方を捨て、全然新らしき酒を新らしき革袋に盛る考へに立ちなほらねばならぬ、と思ひます、一言にして申しますれば、かみ砕いた市町村制、かみ砕いた國政運用の教科書なり、書籍なりが續々出て來ねばならぬと思ひます。

五

かみ砕いた教科書で思ひ出しますのは、今度婦選獲得同盟の政治教育部で、今年の研究事項として選んだ項目の内に、第一に普選とは何やと云ふのが有ります、普選と云つて人も我も口に致しますが一體これは、どんな法律で、其運用はどうするのかと云ふ事になると、議員でない、私等は至つて其內容に乏しいので、先づこれを第一の研究項目としました、これについて前代議士田川大吉郎先生の著された「普選の話」は、誠に平易に解りよく書き現はされて居りますから、私共は先づ之を參考書として、各一冊を供へ、田川先生を聘して之について、講義をきゝ、又讀んでいつて不審をたゞすと云ふ事に致しました、之れはほんの一例に過ぎませぬが、かうした種類の小さい、每週一回なり每月二回なりの小集會が、各地の先覺者たる御婦人方の間に催され、漸くそれが廣がつて、廣き範圍に催され、一般の婦人會や、處女會などでも漸次組織立つて研究が出來るやうになれば、興味はいつしか湧き、知識も漸々に一般的になり來る事と思はれます。

六

歐米の參政權史を見て居りますと、其間に、種々特殊の問題につき、例へば母權卽ち小兒の保護權につき、又は、勞

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

働時間制限、賃銀の問題、其他產前產後の問題などについて、現代の生活の種々なる脅威たる問題を、面白く、劇や、小說に仕組んだのを屢見出します、これは、我國の如きこの問題に對しまだ甚だ幼稚な處では、一時にこれを望む事は出來ませぬが、つまり政治の國民化と共に、眞に新らしき時代の政治的良心を覺醒し又之を養成し、且つこれを一般に普及せんとするには、是非ともこゝまで進まねばならぬと思ひます、この間朝日新聞社が、東京市の市制に對して、高等女學校中學の學生間から論文を募集されたなどは至つて時機に適したやり方で、今後ます〳〵かゝる事が頻繁に行はれ、又一般に行はるゝ必要が有る事でせう、地方の諸學校でも、府縣政について學生の意見を求めたなら必らずそこに何物にも捕はれぬ潑剌たるものをきく事が出來ませう、又同時にそれに對して、父兄なり、當局者の方々なりが眞面目な批評を加へ、更に之を啓發せらるゝなれば、實に第二國民に對して、大なる刺激であり、また幸福でせう。

七

兎に角、政治の國民化に當つて、最も必要な事は、其根本の考へが、一變する事です、門をしきりとして、內と外、全くの別世界とした考へを捨てゝ、町村は我が邸、國家は我が家と云ふ心持ちが、先づ第一に我國民の男女凡べてに入ることだと思ひます、先年私が、青山の叔父の家に遊びに參つた時、未だ彼處の祖母が達者であつた時分ですから廿四五年の前のことでしたらう、今皆成人して居る從兄弟等が、子供で大さわぎをして居る頃でした、或日、雨が降つて外に出られず、家の內で皆が例の如く、ゴッタ返して居る最中、祖母が食堂の方から出て來られ、ふり仰いで皆を眺めながら、申されました「これ〳〵今日はそんなにさわいではいけない、國會が解散になつて主上が御心配なさつて居られるから」とこれをきいて今まで夢中になつて居た、男女の子供達か、一時に靜かになつた事を覺えて居ます、その時は何の氣なしにきいて居ましたが、今考へて見て、さすが、祖母はえらかつたと思ひます、私共が、しかつめらしく政治の國政のと云つて居るまに、毎日の出來事を食物として、直ぐ、國家の大事と我家とを結びつけ、國會解散と、子供とを結びつけて、陛下を思ひ、國家の大事に對して愼むと云ふ心を片端から養つて往つた事の尊さを感ぜずには居られませぬ、全國的政治教育と云ふやうな仰山な事も、實はかうした極く手近な一歩から步み出されるのではないでせうか。

福島縣中村町錦山氏邸のバラを眺めつゝ稿

第八回全國社會事業大會瞥見記

おちみ

一

たしか、第六回社會事業大會が、大阪で開催された時でした、我が矯風會を代表して東京から出席された、千本木道子姉が歸つて來ての報告でした、今度全國各種の社會事業を代表した三千人からの代表者が出席された席上で、徳富氏の首唱、山室、林歌子諸氏の賛成で、廢娼案が可決されました、と云ふことでした。

其以來私の心に、この全國社會事業大會なるものが、一種鮮かに印象されて居ました。今年は其八回大會を、東京に於て開催すると聞いて、何を繰合せても出席しようと、心準備をなして居ました。

二

この事が發表になるとすぐ、全國基督教聯盟の社會部は、前年來の希望であつた基督教社會事業家の顔合せを是非やり度いと云ふ希望で、東京、大阪、神戸、各市の社會事業家懇話會と合同してこの大會の催さるゝ前の一夕を、この目的で集る事に計畫しました。

五月十二日夜、午後五時を合圖に、三三五々新築の青山會館さして集りました東京は勿論、京都、大阪、神戸其他全國の有ゆる基督教會内の知名の人志が見えました。其數約二百名、一同先づ會館の見物を終へ、一堂に會して立食の晩餐を終り、又大會堂に集り、こゝに、祈禱會、協議會の二部に別つて最も興味深き集合が催されました、當夜の辯士、河井道子林歌子、有馬四郎、山室軍平氏等はいづれも實驗に基き力に充ちた勸話をせられました。集りし教會の基督教社會事業家を神の下に一つにする感がありました。

特に私に嬉しく思はれたのは、金澤の大會に缺席せられし、守屋氏を始め城のぶ子氏、二宮わか子氏等が十時、林、渡邊諸氏と共に顔を合され、再び矯風會大會をしなほした感の有つた事でした。

三

十三日から愈々大會は始まりました。會場は芝の協調會館と、其すぢ向ふの増上寺が大小の集會に用ひらるゝ事になつて居ました。私は二三の職員と共に出席しました。男子、女子、洋服、羽織袴、衣、有ゆる姿で、各々増上寺の大門をくぐり、坂を登つてテント張りの役員控所

にかゝり、こゝで會費を拂ひ、徽章、印刷物、それ〳〵を受取つて、宏大な本堂にかゝりました。このテント張りと本堂の間を、生江、留岡、金富、山室其他多くの幹部の諸氏が往復して居られます、此の老紳士方の間に紅一點我が守屋東氏が種々斡旋して居られます。

大階段、大廊下を登り、大障子を開いて中に入れば、早や開會の辭將さに終らんとするところです。正面の御厨子を幕で蔽ひ横向きに演壇を設け、一同座してこれに面して居ます。前半は座し、後半は椅子三千に近き大集が、座についてなほ御厨子の後、僅に席をあまして居ます。

四

この大集を各部に別ち、六部とし、初日は部長を定め、會場を指定し、前年の報告等で、第一日を終り、夜は連日各專門に亘つた講演會でした。

翌日から、各部は、各々指定せられし會場に集り、本部支部個人より提出されし講題について協議しました。多きは五十餘題、少きも十數題のものを各部逐條審議討論し、各部門に對し各々其方面の專門家の講演が用意されました。私は禁酒淫風の問題の含まれし第二部に出席しこゝで廿七ヶ條程の問題の審議の内に加はりました。部門は、第一部の乳兒、幼兒の保護第二部の少年保護及び出獄人の問題、第四部の衛生問題等、それ〳〵直接其任に當る人々が之を談ぜられましたので興味もなか〳〵大きいものでした。

五

大會の決議として決せられし事は、兒童保護に關して政府の施設を進められたき事と云ふやうな抽象的な一ヶ條であつたやうに思ひます。然し各部に於ては各其協議事項に從つて之を審議し、四日の集會の最後に於て、六部の各部長は、悉く、其協議事項に關する報告を致しました。第二部に於て最も喜ばしく思はれた事は、酒に關して、數項の建議案が日本國民禁酒同盟から提出せられ、シャウ博士の適切なる講演の後全部可決せられた事でした。其重なるものは、現今の禁酒法案を廿五歳と爲せる事、小學校の校舍内、又集會に酒を用ひざる事等です。公娼問題に關しては第六回の決議後、官民同會の一つの委員會が組織せられ、專らこの問題に關して審議中との報告が有りました。

六

最後の日に此等各部の委員長の報告が終りを告げたあと、十分許りの時を割い

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、小河博士の追悼法會が行はれました。怨ちの内に御厨子の幕は除かれ、會集は正面に向き直つて、この過去數十年間大阪を中心として全國の社會事業を今日有らしめし國家の恩人、小河博士の靈をまつりました。

當日又特に我等の心を打つたのは、芝増上寺住職の沈痛なる挨拶でした。明治六年以來二回の火災にあひ、過去十有餘年に渡つて專ら造營に苦心し、今日の時代に有つて何等社會事業に貢献する處なきを恥づ。然しこの未成品なる伽藍が、幸ひにこの度の會場に供せられしを喜ぶと云ふ意味のことでした。私共はこの挨拶に接して又更めて、この大衆を容れてなほ餘裕綽々たるこの大建築を仰ぐのでした。

私は在京滿九年、始めてこの大會に出席し誠に自身の見聞の狹きに恥入りました。ことに出獄人保護事業の如きは、佛教徒の手になるもの六百有餘に比して基督教徒の手になるものは僅々原胤明氏等十指を屈する位との事です、三千に垂んとする出席者の内に、其大多數は佛教家です。然しかくして一堂に會し數日に渡り席を共にして我國の社會改善の爲めに各方面から議する時、彼我、學ぶ處甚だ尠かざるを感じます。私は、この内務省の手によつて、中央社會事業協會の主催の下に催さるゝこの大會は、慥かに我國改造の上に一大輿論の根底となる事を疑ひませぬ。私はおそ蒔きながらこの集會には、各自が、我がものをして用意して出席するの必要が有ることを痛感いたしました。(鹿島旅行の車中にて認む)

□禁酒禁煙小册子□

煙草の話	農學士	山鹿全三(廿五版)	30	2
酒と能率	禁酒同盟理事長	長尾半平(第六版)	30	2
酒と佛敎		高島米峰(同)	15	2
醫學上より見たる禁酒	醫學博士	片山國嘉(同)	30	2
未成年者禁酒法案提出の由來	代議士	根本正(同)	10	2
法律上より見たる禁酒	法學博士	穗積重遠(同)	15	2
犯罪と禁酒	法學博士	泉二新熊(同)	25	2
門外漢として見たる禁酒運動		鶴見祐輔(同)	15	2
性の敎育	醫學博士	土肥慶藏(同)	5	2
敎育上より見たる禁酒	醫學博士	澤柳政太郎(同)	25	2
國民禁酒の研究(以上十氏の合本)		(第六版)	200	12

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

第十二回廓清會大會

N. O. K

一

大正三年、吉原遊廓の燒失を機として創立されし廓清會は去る五月廿四日、神田青年會館の假建築の一室に於て其の十二回總會を開催されました。理事長、安部磯雄氏の司會のもとに、午前午後に渡り左記の如く、擧行されました。

第一部（午前十時――十二時）

報告

一、本部事業報告　理事　伊藤秀吉氏
二、本部會計報告　理事　松宮彌平氏
三、各支部報告　各支部代表

議事

一、大正十四年度收支豫算
二、次期對議會運動に關する件
三、對府縣會運動に關する件
四、會勢擴張に關する件
五、宣傳方法に關する件
六、支部提出案
七、役員選擧

午餐（正午――一時半）

第二部（午後一時半――四時）

研究會

講師　山室軍平氏

第三部（午後六時――九時）

晩餐懇談會（會費貳圓五拾錢）

神田區淡路町、多賀羅亭

話題　現代思想に對する廓清會の態度

廢娼問題が愈々社會の活問題として取扱はれ來た際、十數年來この問題に腐心して居る私共の兄弟會が、この、新らしき陣立を以つて社會に對し、又來らむとする議會に對する事を大なる期待と歡喜を以つて見るものです。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

海外

伊太利でも婦人に參政權を

イタリアの下院では、終にムッソリニー首相の勢力に動かされて、婦人に公民權を與へるといふ法案を喝采裡に通過しました。ムッソリニー氏は、千九百廿三年に、萬國婦人參政權協會がローマで大會を開いた時、やがて伊太利婦人も參政權を握るであらうといふことを演說の中で言つた人です。

尤も今度の公民權は、可なりの制限附きで、例へば市參事會には被選擧權があつても市長にはなれないといつたやうなことがあります。然し、兎角因襲的なラテン系統の國々の婦人達が、これから政治的に又社會的に進んでゆくことのためにいゝ刺戟ともなるでせう。兎もあれ伊太利婦人のため喜ぶべきことであります。

全支婦人協會

五月一日、中國婦人協會成立大會が、城內省教育會で開かれた。此會の目的は支那各地の婦人團體を糾合して、まづ、家庭と社會の改良に力を注ぎ次第に婦人の權利擴張、待遇改善から參政權要求にまで推し進める筈で、支那に於ての初めての試みであるといふ。

婦人有權者聯盟

四月十八日から廿一日迄、リッチモンドで全國大會を開いた米國の全國婦人有權者聯盟は、どうして出來たか、今迄にどんなことをして來たか、今何をしてゐるか、又將來何をしようとしてゐるかといふことを知つて置くことも、あながち無駄ではありますまい。

今年第六回目の大會を開いた此聯盟は、團體としては未だ〳〵若いのです。昨年創立五十年の紀念大會を開いた米國基督教婦人矯風會や、七十年以上にもなる基督教女子青年會や、其他婦人クラブ聯盟などと比ぶれば子供です。言葉をかへて言へば、婦人參政權や禁酒や宗教や教育の問題は既に確立した或は是認された問題であるのですが、公民の問題は、米國でも未だ〳〵若いもので、今後非常に教育されることが大切であるといふことになります。

この年若い團體は、ずつと古くから苦戰奮鬪をして來た米國婦人參政權協會の後繼ぎとして生れたものです。千九百十九年、婦人參政權の運動はその最後の苦戰の頁を勝利の中に閉ぢようとしました。當時輿論は既に熟して國會の態度も明かになつてゐました。そこで、

同年のセントルイスの婦人參政權大會を最後として、此團體の解かれようとした時、キャット女史が婦人有權者聯盟の設立を提案したのでした。キャット夫人を始め、婦人參政運動の指導者として奮鬪した人々が、何も選擧權が公民權の全部ではないのだから、婦人の政治上の新しい使命を正しく有益に果たし、又永い間の婦人參政運動で得た種々の政治上の知識や、意見を愛する國のために役立てるためには公民としての訓練が必要であるといふことに氣がついたのでした。そこで、當時、やがて來るべき必要のために備へをするために、米國婦人有權者聯盟が生れたわけでした。最初の會長はチャールス・アルーリ夫人でした。今の會長は三代目でシエルウヰン女史です。申す迄もなく最初の一年は、試みの年でした。

此新團體の目的は公平な立場から公民教育をすることでありました。さうして、あの大統領選擧の年から選擧のエー、ビー、シー、を始めた譯でした。組織は州のもの、又それより小さい地方支部といふやうに出來、それらの團體は、それ等自體が公民教育の學校でもあり講習所でもあるといふ狀態となりました。此團體には、出版部と講演部も設置されて、そこから諸方に講師を派遣し、そこから

345

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

出版される小冊子類は、公民生活のよい手引となつてゐるのであります。

又此團體では兒童問題、產業婦人、婦人の法律上の地位、社會衛生、教育問題等に就て研究してゐます。法律を研究し、法律の改正に成功したことも度々です。此團體には又數個の部が活動の便宜上作られてゐますが、その中で、特に著しいのは、千九百廿一年に設置されて以來、次第に發達して、今では、別にニューヨークに獨立した本部を持つ迄に至つた戰爭防止のための國際協同の働きであります。この部では、世界仲裁々判所に米國加入のために盡し、戰爭の原因と防止の方法とを調べて世界平和への女性の使命を高調するなど、頭と心とを等しく働かせつゝ働いてゐます。

ある人々は、なぜ婦人が男子とは別に政治教育を受けなければならないのかとの疑問を抱くでせう。それは一應尤なことながら、婦人は男子と異つた分野に、異つた經驗と意見をもつてゐますから。兎まれ、此團體の使命は大きく、その活動の野は實に廣いものであります。

（エス・エム・）

時事

自ら進んで特殊國となるか

N・O・K・

一九二一年以來、屢々稱導されし國際聯盟の婦女保護案は、「終ひに其批准を我國に求めて來つた。否でも應でも聯盟の四大國として我國はこれに明かな回答を與へねばならぬ。

我國は終ひに去る九日の閣議に於て、保護年齡廿一歲を保留して、十八歲とする事に決定されたさうだ。そして之を、朝鮮、臺灣、樺太、等、統治領內には施行せぬと回答せらるゝさうだ。我が國が、賣淫を一種の營業とし、其採用年齡を十八歲とする以上、この條約に批准し得ないのは當然だ。又海外に、賣淫婦の出稼を默認する以上、之を殖民地、統治領內に施行し得ないのは當然だ。

一九二一年、あの條約が出來た年、私は事實の問題に打ち當つて苦しんで居た當時であつたので、まろびつ起きつ、あの婦女保護法案を横山勝太郎氏の手によつて第四十五議會に提出したのだつた然し時未だ來らず、全國よりさしもの反響と同情を得た法案も空しく議會に於て、葬られ去つたのであつた。而して今日我國は、苦しき辯解と、自ら進んで特殊國になる事によつて、この條約に對せねばならぬ。普選は行はれた、政治は國民化せんとしつゝある、願くばこの際、奮勵一番、國民半數の婦女子の人格を否定するこの賣淫制度が、我國から葬り去らるゝ爲めに極力、努力せねばならぬと思ふ。同志の士の奮起を祈つてやまぬ次第である。

急告

九月號を以て、矢島楫子女史記念號と致します。

此號に限り特に御註文を歡迎致します。

既に卅部、五十部と支部からの特別の註文もあります。

此際個人の方々の御註文を併せて歡迎致します。

八月十日迄に御知らせ頂きます。

このごろ

守屋東

□南洋ゆき

せわしいこのごろだつた。

南洋行といふ事は、二年前から心の願ひだつた、婦人ホームの娘マサノを南洋のポナペに送つてから一度はぜひ私は訪ねて行つてやらなければと願つてゐた、今それが果せるのだ、何といふ感謝だらう。

マサノは今年廿一歳、私の手許に來たときは十四だつた、小娘だつた。そして中三年私の處から離れて居た。だまつて歸つて來てからだまつて私は家においた、そして或日、祈の答のやうにマサノに南洋行について話した。マサノは寂しい南洋に行くと答へた、田中牧師の家庭に女中となつて行く事にきまつた。マサノは音樂が上手だつた。オルガンもかなり彈く、讚美歌ならどれでも彈ける、あみものがうまかつた。そして何にでも熱心だつた。マサノが行つてから後、來る手紙來る手紙私をいつも神様の前にひざまづかせた。信仰の厚い無邪氣な、ほんとにいゝ手紙をくれた。土人の子供のいゝ友達になつたとかいてある。私は今船に乘てマサノの處へ行かうとして居る時、心の底から神様にお禮申す氣持になる、私の心は近頃にない美しいものだ、はれ〴〵してゐる、遠くても暑くても私には何にもかゝはりはない、マサノが心をつくし精神をつくして働いて居る處へ行くのだから。

たつまでのあわたゞしさといふてはなかつた、何しても重なりあつた用事に、出來事さへ加はつたのでその忙しかつた事目が巡るやうだつた、それでもホームの先生や娘達が、やさしい贈物をとゝのへて私に渡してくれた、小さい子供等は自分の遊び道具をわけて土人の子供へと贈つた。豆が一番い

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

いといふので何升か大な石油罐に一杯つめて持て來た。東ケ崎夫人はまた御持參の洋服類を配けて下さつた。番町教會の婦人會、第一高女の高等科の生徒さん達からまで贈物を頂いた。

どうして之れを配けようかと今から樂しみだ。

同行者は看護婦の金谷姉と、かの子の二人、どちらもぜひ連れて行て欲しいといふ特志なのだ。旅は道連れである。此二人にまた負ふ處多い事を信じて行く。

私は臺灣に行つた時、美しい南國の草花を見て、どうかして此花を此色をこのまゝにみせたいと願つた。が、是はできなかつた。それから後私は南洋に行く事が心に定まつた後、思ひきつて畫をならはうときめた、あぶら畫を、畫などかける私ではないけれど花だけでもかきたいと願つた。そして四月の十五日から始めた。

向つて右より小鰐完次・守屋東・元山龍之介の三氏

出掛ける迄に少しかいて見た、そしてどうやら思ふ程でなくても書けるたけはかけると信じた。

此度南洋旅行にも畫の道具を持つて來た。強い色の草木や、勇しい發育をして居る草花をかいて來ようと樂しんで居るホームの子供等は下手でも親の畫いた畫はいゝといふ顔して私の畫を見る、それで熱心もますわけ。

いつか讀者にもおめにかけるときがあるかもしれないとほくそ笑んで居る。

此寫眞は私のよろこびの一つである。元山龍之介君と、小鰐完次君だ、二人とも私の息子分だ。小鰐さんは自分で此間の社會事業大會の時山室大佐に「私は守屋先生の息子です、少年禁酒軍です、今禁酒會で働いて居ます」と自己紹介をして居られた。その通りに小鰐さんは、少年禁酒軍に生れて、早稻田大學を出るとすぐ、日本國民禁酒會の幹事となつた人

なのだ、元山さんは臺灣旅行の時元山夫人が自分の代りに息子をあなたの働きに參加させると遣して下さつた息子なのだ私は二人の此働人を與へられて居る、何といふ幸福な事だらう。此度南洋旅行の留守中に編纂される第一年度の禁酒教育運動の報告書は此二人と宮添綠氏の三人に托して出掛けた。若い人々の健かな發達と清い成長とを旅の中にて私は祈る。

□第九回社會事業大會

第九回全國社會事業大會は東京に開かれた、私は接待員の一人となつて働いた。會するもの二千に達したと聞いた。其中婦人は小數だつたが、先年に比して多くなつた、その上質が良い、婦人の社會事業家は多數あると思ふが種々の點に於て外出がむづかしいらしい、それでも婦人の懇談會を開いた時は七十八名も集まつた。

各々其働について語りあつた。婦人矯風會關係の人が地方に多く有力な働をされて居る事は見逃がせない一事であつた。

奥の十時姉、神戸の城姉、大阪の林女史、横濱の二宮夫人動かすべからざる日本の社會事業家の婦人等であつ、

此婦人懇談會で次の大會の時からぜひとも婦人の懇談の爲に時間を作つてほしいといふ事が決議された。また此大會では禁酒問題が盛に論議され、十二名の委員附托となつて禁酒問題が研究される事になつた。特に佛教側の婦人で熱心に此問題を主張された事のあつた事實は、感謝の至りであつた。私は第二部に出て子供の問題に傾注した、そして子供と酒について述べた。

何にしても年々此會合が進歩して行く事を見てうれしい。

□東伏見宮大妃殿下

何といふ光榮か、五月廿七日東伏見宮大妃殿下の御召を蒙つて十四五名の社會事業家の先輩と共に御殿に參上した。其一日前小崎會頭は矯風會の代表者として同じくお召しを蒙られた。

殿下は聰明にまし〳〵て今わが日本の社會事業に對し深き興味と御熱心とを持たせらるゝと承はる、此日殿下は日本服を召して起ち給ふた。一人々々仕事と名前とを長岡社會局長の御紹介で御前に出た。そして各々其仕事について御話し申上た、お食事を頂いた、小崎會頭も私も殿下の食卓に御陪食の

榮を荷ふた。殿下は「此間小崎から矢島の事を聞いたが丈夫ださうだネ」と仰つしやつた。私は矢島先生から申上るやうに命ぜられて居た御禮を言上して、いつもにこやかに御物語遊ばさる〻殿下に長官は「守屋は此度南洋に參ります」と御紹介下さつたので、私はマサノの志を言上した。お國の爲に一生懸命に働いてをりますと、そして傳道の爲に熱心して居るマサノの氣持を幾分でも申上る事が出來た事をマサノがよろこぶやうに私はよろこばしい事におもふた。留岡先生、喜多川夫人、丸山千代子姉などと同じテーブルについて、光榮ある一時を持ち得た事を有難く思ふ。お食後また別室でお話しを申上る事になつた、私は婦人ホームについて申上た、慈愛館を明治廿六年より始めて淪落婦人の友となつてゐる事など申上た。特に私は、斯うしたお召をうけた事を娘等に話して娘等が非常な光榮と思ふた事は、どの位教育上大きい刺戟であるかしれません。只々有難く此光榮を感謝いたしますと申上た時には泣き蟲の私は涙でおほはれた。私は別に何も致しません、各家にそれ〳〵教師が居りまして日夜骨折つて娘等の世話をして居りますと申上げて幾分身にあまる光榮をうけ得た氣持になつた。

ほんとに朝も晝も夜も娘等と一緒に暮す、うちの先生達はどうして慰めていゝかしれないと思ふ「神樣どうか一人々々をお愛し下さい、そして健かな心身をお與へ下さい、私は一人々々の教師達に眞から感謝して何もかもうちまかせて居ります――」と祈る心がいつも同じだ。

此度旅に出るにしても安心して出る事が出來る、幸福者の私どんなにしてもよく働かなければ濟まぬとおもふ。

□澤柳博士

澤柳博士の祝賀會の開かれた次の朝、婦女新聞の福島四郎氏から電話があつた。

「澤柳博士の祝賀會に於てあなたがおよろこびになる事があつたので早くお知らせしたくて電話を掛ます、博士の事です、來會者は立派な方々でした、大學教授、實業家、教育家、あらゆる方面の人々七百有餘名でした、式の時は千をこしてゐました、博士は謹厳に人々の祝意に對し謝辭を述べられた後、私も健康で斯うして居りますが、猶一層健康を以て國家の爲に働きたいと思ふて居ります。健康には一番酒が害をしま

す、御同樣國家に對し大きい働をなさんとするものは健康がなくては何も出來ません、どうぞ其意味に於て酒を使用せぬものになりませう」といふたやうな感謝の辭がありました。招かれた人々が此言葉を言はれるのですからなか〳〵容易ではありません、博士の此一言は實に近頃にない立派なものでした。

「食卓にも此日は一滴の酒さへ使用されなかつた事はますますあなたのおよろこびになる處でせう。早くお知らせしたかつたのです」と、私は心からよろこびました。諸姉も亦およろこび下さい。

○

竹崎達子夫人は矢島先生の第二女、先生を看護の爲お側にいらつしやいました、四月廿四日の先生のお誕生の朝發病なさつて今床について居られます、いつも先生の爲に書をよみ手紙を認め萬端の事をして下さつた竹崎夫人がお倒れになつたのでほんとに竹崎さんにもまた先生にもお氣の毒でなりません、幸ひ竹崎さんの其後はだん〳〵およろしいので皆よろこんで居ます、私が出掛ける前、先生のお部屋に寢臺をならべてお二人親子が睦まじく寢ていらしやいました、マサノの處へこれから行つてまゐりますと申した時竹崎さんが、

「私はマサノには遇つた事がないけれどこの句を送ります」

「汝すべての道にエホバをしれ
さらば彼汝の道を直くせん」

ほんとにいゝ言葉を下さつたとおもひます、そして竹崎さんは、「私は何も働く事の出來ない人になつてしまつたけれど祈の人になります」と仰つしやつた。

矢島先生にお別れして出て來るとき「先生と竹崎さんと祈の人が二人になりました、心強く行つて來ます」

下ノ關の錦波樓で船の出る前一筆かきました、このごろあわたゞしい記事、諸姉の御判讀を乞ふ。行つてまゐります。

五、三〇　下ノ關にて

351
Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

仕事をして見て

元山龍之介

無事仕事を終うせて、報告となると實に嬉しいものです。あの大きな仕事――全國にある二萬五千有餘の小學校へ、禁酒禁烟の教材を送る――を、短日時で爲し遂げ得たことは、皆樣の、盡きぬ祈りと、御力添へにあつたのでした。誠に感謝に堪えません。

關東關西兩地方に、發送する迄に出來た二月十日には、第一回發送日として、この運動の前途生命あらしむるため發送祈禱會を催ふされました。同情ある方々は、二月と云ふ嚴冬の寒さも厭はず、遠路も遠しとせずに、さゝやかなる私共のために來て下さいました。

この日、未成年者喫煙禁止法、未成年者飲酒禁止法のため、二十有餘年といふ永い月日を費ひして、遂に成立させられた、禁酒禁煙の大恩人、根本正先生もお光來になつて、私共のため國家事業の最も大なる貴い使命あるもの也と、句々節々至情を籠めて、祈つて下さいました。

又林歌子先生も大阪から遠路も氣にせず、態々上つて來られて、親切な婆心溢るゝ心地から仕事の前途に幸あれ、光あれと祈つて下さいました。斯うして皆樣の祈つて下さる事に同勞者一同は感激にむせぶ許りでした。自重自愛を切實にかんじます。この運動は、終始祈りと、感謝で盡きます。

いつも發送物を、郵便局に運ぶ時は、左隣りの紙屑屋さんが、商賣道具の運搬車を數臺貸してくれました。そして積込方を親切に教へてくれました。又右隣りの自動車屋の主人、助手さんは、丸筒を積込んで加勢してくれました。學生排酒聯盟の方々は、大學の制服をつけ乍ら町の中を、ゴロ〳〵車を曳いて、郵便局に運んで下さいました。

郵便局でも特に好意を持つて、時間外でも(時とすると、夜の十一時頃になつた事さへありました。)搬入を許して下さつたり、忙しい最中に、いやな顔も見せず、少年禁酒軍の仕事のために、出來さうにもない相談に乘つて下さつて、便宜

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を計つて下さつたり、數へ切れぬ親切を盡して下さつたものでした。

日本全國の小學校を訪れた、丸岡幹部は總て皆樣の祈り、同情、好意の結晶だつたのでした。立派な果實が結ばれる事を、信じてゐます。

打てば響くとか、送り出すと二三日も經たぬに續々として、各方面の小學校の校長さんから、色々と禮を述べられた便りを得ました。それを見て報いをのぞます働いてゐると云ふ同勞者が何もかも打忘れて喜びました。をかしなものです。然しそれでどんなに力付けられて又次の仕事にはげんだ事でせう。震災後のひどいバラックで手をはらして痛々さうに働いてゐることもその時は、忘れてゐたものでした。同勞者が互に扶けて働いて來たありし日を追憶すれば、感慨轉た無量です。仕事をする上の喜びも、辛らさも、樂しさも、苦しさもありとあらゆる體驗を嘗めました。けれどもそれは働人には當然の事でした。さるにしても、悲しい事に遂に、同勞者の一人石川姉を休養の必要に陷らせた事は心殘りがします。今姉は大島で靜養中です。大變好經過ださうです。一日も早く全く癒へて更び私等と步調を揃へて進軍されん事を祈つてゐます。

婦人矯風會の事務所にたつた一人の男――萬紅中の綠一點ですね――が私です。然し私が婦人の中に一人働いてゐるといふ事は別に不思議はないのです。母の身代りにこゝに來て働かせて戴いてゐるのですから。私の母はもう大分年ふけて尚その上、脚を惡るくしてゐるものですから思ふ存分の仕事を奉仕するわけにゆかぬと見えます。自身口惜しいと思ふのでせう。幸ひ家に男の子が澤山居るものですから、私に一つ妾の身代りに働いてくれといふ次第です。實は私が矯風會で働いてゐるのではなく、母が働いてゐるのです。母の心を掬んで充分に足らぬ私が盡せるかどうかは頗る自信がありません。けれども、私として出來る丈けの事をして母のものに代へやうと願ひ祈つてゐます。幸ひ守屋軍長はよき指導者になつて陰になり、陽になつて私を育てゝ下さいます。グレート、マアーと叫ばずに居れなくなります。實に私は幸福です。皆さんの祈りの中に包まれてこの仕事に從事させていただけるとは。感謝です。

――(をはり)――

「トーチベアラー」を讀みて（四）

ガントレット恒子

電光の様な、鋭さを持つた、フランセス・ウヰラードは、禁酒運動の進行につれ、教育に、法律に、社交に、實業に、如何なる方面の、社會にも、禁酒に關聯して居らない處のない事を見て取つた、彼女は直に「Do every thing」（萬事をなせ）主義を採つて、玆に二つの、ブランチと、五つの部、即ち、青年少年のブランチ、法律部、傳道部、社會部、防止部、教育部を置き、尚此の部の内に四十に近い課を設けた、禁酒は改善の全部ではない、改善は凡ての事に及ばねばならぬと主張して、各方面に於ける、改善に着手したのであつた、女史は常に口にした、「禁酒事業は、家庭の保護である、國家を潔める仕事である、家庭を傷け、國家をおびやかす二十萬餘の酒店の存在を思ふ時、私共は、どうして安閑として、正視するに忍び得様か」と

矯風會は、たとへて云へば大木の様で、部は其枝、課は葉である、而かも此木は、神の聖手に由つて植ゑ付けられたもので、大風が吹いて、此木を、時には東に、時には西に、南に北にとゆり動かさすけれども、幹は益々深く根ゑ下し、枝は高く廣く生ひ茂り、更に朽つる事はない、神の植え付け給ふた樹を神が守り給はぬ筈はないのであるもの、その信念を以て、米國の到る處に宣傳せられ、小い可愛い少年禁酒軍人等は、女史のつくられた「酒やを追へ」の歌を以て、就なき戰を續けた、「酒やを追へ」の歌に就いては、コンナ話がある、或時、例の様にウヰラード女史は、ゴールドン女史同伴で旅行の途にあつた、ゴールドン女史は、ウ女史に向つて、少年禁酒軍々歌一篇に續いて第二篇を發行する必要があるから、是非、二篇の爲に作歌を賴むと云つた、即座に筆を執つ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て、エバンストンへシカゴより歸りの列車の中で、書き上げられたのが、此歌であつたのである、幾萬の少年少女が、足並揃へて、此歌を唄つて、行進した事であらう、幾萬の酒に虜となつた男女が、此歌に由つて、改心した事であらう。

矯風會の第一の目的が家庭の保護である故に、創立時代より、會が段々進むにつれ、婦人達は、大人に改心を促すより小さい子供の頭腦に、酒害の恐るべき事を、各方面から敎へ込む方がどんなに有效であるか知れないと云ふ事に氣が付いた。彼等は、間斷なく小學校に、日曜學校に其門戸の開放を求め、兒童の間に、少年禁酒軍を組織した、ボストン市のヘレン・ライス女史、マサチユセット州のメリー・エー・リバモーア女史は最初の軍長であつて、懸賞文學會や音樂會の催しに由つて、禁酒軍人に、科學的に或は道德的に、飮酒の害を敎へた、文豪マークツエーンは、此の動きを評して、「敎育は大切である、桃の木も、初めは小さい種であつた、而かも其種は苦い種であつた、花キヤベツだつて、培養せられたキヤベツに過ぎない、苦い種から、甘い桃の實を結ばせるのも、キヤベツから、花キヤベツを作り得るのも、結局は、丹精の結果だ」と書いて居た。

一八七四年の大會に於て、すでに、ウ女史は、子供に禁酒敎育を施すの必要を說いて、一八七五年には、日曜學校や禁酒軍でジユリヤ・コールマン女史の筆に成つた、「禁酒問答」、「禁酒に就ての聖書の敎」「アルコールと煙草」を敎へる樣にした、翌年、一八七六年には、有爲なる青年達が、酒害を蒙つて、倒れつゝあるのを目擊し、三人の委員を選定して、中學校大學校に、此事業を及ぼす樣、努めさせた。遂に一八七八年には、ウヰスコンシン州のスチール孃は、男女の大中學校に禁酒聯盟を作るべく、委員として擧げられ、一八七九年の大會に於ては、ボストン市のハント夫人が、科學的禁酒の研究部を擔任する事となつた、學校に法律を以て、禁酒を科學的に敎ふるに至つたのは、此忠實熱心なる、ハント夫人の力であつた、夫人が科學的禁酒を學校で、課目として敎へてはとの注意に對し、有權者の大部分が酒造家である郡に於ける敎育課では、法律を楯に取つて、頑として、聞き入れなかつた、茲に至つて、ハント夫人は、法律改正の必要急なるを認め、米國矯風會の大きな團體を背景として、此方面に大活躍

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を開始した。

女史は此最も有力且確實なる運動の基礎として、先づ、米國は申すまでもなく、英佛其他の文明國を訪ふて、其國々に於ける飲酒の結果を研究、調査した、女史を助けて、凡らゆる方面に後援者として、助言者として、同勞者として盡された人々の中には、世界有數の科學者が數へられ、女史の社會に貢獻した功績は、英語を解する國民の間には史料として賞讃せられて居る。

女史は、此運動の一方法として、大地圖を作り、各郡の上に黒き覆を縫ひつけた、而して一郡づゝ、新しき法律の許に學校に於て、兒童にも、學生にも、等しく、禁酒教育の施さるゝに至るを見る時、地圖上の黒布は除かれ白州と變つてゆく樣に、面白い計畫をたてた、而して年毎に、各州の法律は此點に於て改正せられ、黒州が、白州に變つて行つた、其最終の州は、ジョジヤ州であつた、アルコールの呪ひより、各州を一つ一つ、法律の保護に由つて、救はれんとするの機會をかちえた、女史は、其祝合場に於て、次の樣に云つた。

「私が此地圖の前に立つ時、そして最後の覆ひを取り去るの悦びを與へらるゝ時、私の心は只感謝の念に充つるのである是れ神エホバの御恩惠でなくして、何であらふ、主が我國を捨て給はず、あはれみを以て我國民を、あしらひ給ふ大なる印像である、私は神に感謝の祈と、喜悦の讃美とを捧げると共に此難事業に、たづさわり、最後まで、ふみ止まつて、私と勞を分ちし、數十萬の婦人を想ひ、彼等に感謝の言葉を捧げずには居られない」

ボストン郡の、カサリン、スチブンソン夫人が、此祝合の席で祝辭を述べた中に「私は、我會の創立者であり、會頭である、フランセス・ウヰラードの偉業を讃へるものである、けれども、偉業の中の偉業は、最も適材を適所に配置するの明を有ち、且つ實行する事であると思ふ、其内でも亦、ハント夫人を、一八七九年に、此郡の部長として用ひた事ではあるまいか、私はジョジヤ州と、之を導き培つて、たとえそれが此法律を布く最後の州であつても、玆に至らしめた熱心な人々に、心からの謝辭を捧げ度いのである」と云つて居る。

此法律によれば、どんな學校でも、公立の學校である限りは、海軍大學でさへも、生徒に科學的にアルコールの性質と其人體に及ぼす悪い結果とを教へなければならないのであつた、此大事業こそ、米國をして禁酒令を布くに至らしめた最初

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の一歩であつたといつて差支へないのである。一人の女の熱心が、他を能く動かして、此大勝利を得るに至つた事實を認める時、私共は如何なる善事にも、只熱心と勇氣を以て突進すれば、必らず目的を達するに至る力を與へらるゝと信ぜずには居られない。

一九〇三年、オハヨー部、シンシナタ市に開かれた、大會に於て、ハント夫人の希望に由り、此部の名稱を「科學的禁酒調査研究局」と改め、尚此上に、「禁酒教育部」を置く事となつた、ハント夫人は、特に小學校に於て、此教育の必要を力說せられた、其理由は、云ふまでもなく、小學校兒童の大部分は、小學校教育のみにて、業務に就くものとなる故に、此期を失するなら、一般的に、禁酒的知識を普及する事は、困難であるからである。

其當時に於けるハント夫人の演說の一部を讀めば、夫人の意のある所の一端をうかゞひ知る事が出來る。

「私共は奴隷制度を否定するものである、然るに、アルコール飲料や其他、煙草の如き痲醉劑は、私共を一度、捕へおほせる時は、一生自由を許されぬ奴隷となるのである、アルコールや痲醉劑の奴隷となつた者は、なさけない事には、自分が奴隷の境遇にある事さへ知らず、肉體は愚か、靈魂までも束縛され、尚其上に子孫にまで其束縛の手は伸べられるのであるとすれば、自由を主張する國民の敵ともいふべきものである、此魔王の勢力を打ちくぢく爲には、法律の制裁がどうしても必要である、何故なれば、法律は國民多數の意志の表現であるから、アルコール製造賣買を否定する者が、國民の多數を占むるものとすれば、當然是れは法律となつて表はれ、國家を酒害より保護する事が出來る樣になるのに何の不思議もない筈である、矯風會の此部の事業は、國内の一人殘らずに絶對禁酒をさせると云ふ樣な不可能な夢の樣な事を主張するのではない、私共は民衆い聲として禁酒をさけぶに足る丈けの勢力を持つに至るまで、將來の輿論を作るべき小さき者を教育せんが爲であつて、やがては、此多數民衆の聲が酒なき國、煙草なき社會を實現するのである。

歷史は未來が過古を制服した事を、つゞつたもので現在は其戰場であると私は思ふ、今日は過古に於ける、アルコールに對する緩慢な人類の態度、無智より來る無頓着等を、打破つて科學に立脚せる明確なる知識を以て之に代らしめんと努めつゝある苦戰の時代である此戰鬪に用ふべき武器は(一)アルコールの實質及び人體に及ぼす結果の研究(二)眞理の宣傳等である、私は必ず私の夢の社會に實現せらるゝ時の招來を信ずる、最後の酒店が此國より、此市より取拂はれる日が來る日を信ずる、私は重ねて云ふ、教室にて、論理的に教へられし知識に由つて、確固たる理由の許に、アルコールを排斥し禁酒令發布に、明晳なる頭腦を以て、其聲をかし、之が實施に共力を致す者の無數に起る時の來るを信じて疑はないのである」

此勇敢なる戰士は、一九〇六年に戰ひ半にして、倒れた、けれども、夫人の場處は一日も空席とはならず、副部長のラベル夫人に由つて補充せられ、同年十一月の大會に於て、ミルウオキー州のデビス夫人が部長として、就任するに至つた。

力

ガントレット恒子

七月

一日

汝等強くあれ、此世は、遊びの巷、夢みる里ではなく、限りある力の有丈を盡して働き、最後まで戰ひ、自分の爲ばかりではなく、人の爲にも力を盡して、身にあまる如く見ゆる重荷にも手を貸さねばならぬ所である。神はかくなさしめて汝等を強め給ふのである。

バブカック

二日

神よ今日も亦、私の心に湧き出て來る、最初の想ひ、最初の意志を守りて、清きもの、尊きもの、聖旨に適へるものとなし給へ、願くば、主の強き靈を以て私の全部を充し給へ。

ケン

三日

眞夏の太陽をうけて、萬物はメキメキと大きくなる、強くなる、少しの音もなく、育つて行くもの、力は、何處から來るであらうか。

四日

汝の能ふ所を、力を盡して爲し、汝の力には及び難く見ゆる處に、最善を盡して、努力を加へる時、新しき力は、自然に加へられるのである。

ロングフエロー

五日

筆は、劍より強く、思想は銃より偉大な力を有す。

アブベレ卿

六日

己に誠實を以てのぞむ者に、最も深く、誠實を慕ふもので

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ある、彼等は、大なる夢をみて、之を實現するの勇氣に富む。

ローエル

七日

成功に成功を重ねて、勝ち誇る人々は、其成功への道に横はつた、數へきれぬ、困難と云ふ大きな岩や、試練と稱ぶ深い淵を飛び越え、乘り切つたからで、其力は、困難に出逢ふ毎に、增し加へられたのである。

スパルジョン

八日

最も深い河川は、最も靜かに流れる。

九日

私等がなさんと企てる仕事が、大きければ、大きい丈、之をなし遂げた時の喜は大きい。

スタンリー

十日

力は最初より、特別の人々にのみ、與へられるのではない。努力する者、失敗にくじけぬ人に與へられるのである。

十一日

今日は、自己の力に誇り得る人も、傲慢と、うぬほれに醉ふて、油斷する時は、翌日はそれだけ力の減退をまぬかれない。

十二日

金力は、其所有する黃金の量の如何によるのではなく、之を使用する方法、用途如何に由つて、定まるのである。

フランクリン

十三日

國家の爲め、死を以て盡す事は易い、けれども、苦難を排して、生を全ふし、終まで其責を果す事は一層至難であり、且つ讃辭に値へする。

モンタレンバート

十四日

自知、自重、自制、此三つは、人をして、王者の勢力をかち得せしむ。

テニソン

十五日

口の言葉より、實行に力がある。

十六日

エホバは、能力を衣となし、帶となし給へり、されば又世界もかたくたちて、動かさるゝことなし、……エホバよ、聖潔はなんぢの家にとこしへまでも、適應なり、詩、九三。

十七日

我が力は、十人の其に値ひす、蓋わが心、清きが故なり。

テニソン

十八日

視よ神はわが救なり、われよりたのみて、おそるゝところ

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

なし、主エホバは、我力、我歌なり。エホバは亦我救となりたまへり。

イザヤ十二、二

十九日

神よ、爾は愛なり、われは其愛の上に、我が信仰を建設す、愛は最大の力なり。

ブラウニング

二十日

われ生くれば、なんぢらも生く。

主イエス

二十一日

あなたの負ふ十字架が重い？　彼處には、釘付けられた兩手が、あなたの十字架を支へようとて、さしのべられてあるではないか、あなたは人世の勞苦に、うみ疲れたか、カルバリ山の上なる、主の十字架を、見上げまつる時、あなたの心には、云ひ知れぬ上よりの力の加へらるゝをまたぬか。

二十二日

強さは、我々の用ふる、手足から出づるのではなく、我々の裏なる靈より、湧き出づるのである。

セロー

二十三日

生命は、光であり、光は、力である。

二十四日

親切の言葉は強い、愛の行爲は、偉大である。

二十五日

思想は勢であり、力である、能く考へ、深く思ふ者は、新しき天、新しき地を造り出す。

ウッド

二十六日

群集の呼應は、聞えずとも、汝の眞理と信ずる所に、かたく立て、眞理に與みする時、味方の聲は弱くとも、必勝を期して進め、眞理は力である故に。

チャニング

二十七日

信仰の鎧を付け、仕事にも、休息にも、雄々しく生きよ、神は、武器を手にして、戰ふ兵士を要し給ふ如く、靜に立ちて、守る歩哨兵をも等しく要し給ふのである。

ベセタマス

二十八日

時の如何を問はず、場所の如何に關らず、常に不變の力を以て働くものは眞の愛である。

二十九日

キリストなき生涯は、暗き生涯である、キリストの聖顏の輝を仰ぎ見る時のみ、我々の生涯は光を得、力を増すのである。

ロゼッチー

三十日

愛は世界最大のものであつて、最も強く且つ最も長く活きるものである。

バンダイク

三十一日

あゝ、エホバわが磐、わが贖主よ、わが口の言、わが心の思念、なんぢのまへに悦ばるゝことを得しめ給へ。

詩十九。十四

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

言はずもがなのこと

阿蘇の少女

キリストよマホメットよ、孔子よ、釋迦よ、如何に雄辯に汝等神に就て語り、愛を說き、生や死に就て物語りしことよ。然し乍ら、神は終に神であり、人間は恒に人間である。生も死も凡てこれらは人に屬するものであつて、而も人の如何ともすることの出來ないものである。あゝ多くの豫言者等の、如何に雄辯に數へを說きしことよ。然し、彼等も亦、他の無數の心のさすらひ人と異るところなく、死の幕をかゝげて神祕の彼方にかくれ、再び歸り來ることがない。天を指差しゝ双の手は蟲に喰はれ、淸き言葉烈しき言葉のほとばしり出た赤い唇は土と化し去つた。彼等の聞かせて吳れた死の彼方の天國が、淨土が、或は又地獄がどんなものか、死の幕の彼方はどんなものか、私は知り度い。けれ共、彼等の體驗を通し、實感を經たものを私は知ることが出來ない。彼等も亦よみの國に入つては道を踏み迷つた人々と見える。未だ曾つて誰一人として歸つて來たことがない。私達はやつぱり何事もわからないまゝで、いつ迄も同じところでどう〳〵めぐりをやつてゐる。死の彼方の世界こそ、どのやうな鍵ででも開かれぬ。

×

「女」は男には解らないし、「男」は女には解らない。男は、「女」はあれ位のものかと思ふだらうし、女は「男」はあんなのだらうかと思ふ。然し、「偉い」「偉くない」の秤にかゝればどちらも同じだ。その秤は神が持ち結ふ。

×

結婚は二人の生活を或方面に於ては擴けるが、然し、ある方面に於ては可なり狹いものにしてしまふ。殊に女の場合に於てさうである。なぜならば戀愛はそれ自身排他的で獨占的

だからである。

×

咲き匂ふ真紅のばらの花びらが、音もなく地上に落ちる。人の戀も斯くありたい。戀にかしましいのは猫の戀、蠅の戀野犬の戀。

×

私は生れた。生の彼方はいづく。我等これを知らずである。私は死なければならない。一人の洩れなく人は死にゆくのである。死の彼方はいづこ。幕の彼方我等之を知らずである。冥途への使は返事を持ち歸らない。

人生に悲しいことがあれば、それは泣けなくなつた時である。寂しいことがあれば、それは笑えなくなつた時である。然し、これは稀に稀なる人に於て見ることが出來る。泣けなくなる、笑えなくなる、何といふ陰鬱な靈魂の沼地だらう。何といふ怖ろしい虚無だらう。この沼地に踏み入つては、死も驚くに足らぬ。戀も煩はしい、結婚も怠儀。さて、かういふ人間が今の世の中のどこかの隅つこに居りはしないか。

酒に酔はうとする程の心があれば戀は出來る。戀するとを怠儀と心得るやうな怠け者には愛の神は決して味方しない。

×

戀せよ。愛せよ。さうして歡喜の泉を掬めよ。人生の行路を、あの賑かな、然し何と言ひやうもない寂しい隊商の旅しゆく荒野にたとへようか。然し、隊商の人々が、曠野の涯に清水湧くオアシスを見出した時の喜びよ。戀人を見出すのは淋しい人生にオアシスを見出すのと同じである。

×　×

×　×

×　×

×　×

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

近況申上ます

林歌子

何から始め様かと思ひますが、先づ皆様より御同情を賜きました。

▽記念バザー

から始めます。大阪支部と致しては支部誕生の滿二十六年、大阪婦人ホーム開始滿十八年、小公園の献園式滿一年と申す様に難忘記念日五月二十七、二十八日の兩日バザーを開催致しました。

各支部から品物や同情券の御寄贈を戴きました。國産紹介と思ひまして、朝鮮や北海道や上州や靜岡高知等より夫々品物を取寄せました

▽小公園は公堂

會場は平素四十人程にて生活致す婦人ホーム全體を使用いたして、一夜のうちに小三越の百貨店と致す事なれば其混雑と骨折は一通りではありません。公堂は天幕張つめし小公園、紅白の幕を張りつめて何事かと思ふ程立派に飾り立てられました。

▽惠まれし天候

婦人ホームの御隣りは遞信省工務課にて同省分も一番早く買ひ求められ、其前の廣き土地は自由に使用せよとの厚き御同情をうけ机まで澤山に拜借して實に御陰様で準備は出來ました。小使さんまでがホームのバザーに同情されて「この二日間雨が降らぬ様に心から祈りました。もし雨が落つたなら兩手でうけ様かと思ひました」と、眞心よりの深き同情の言葉を聞きましては涙ぐまづには居られませんでした。

▽會員の活動　皆様の御同情

清水坂部兩副支部長を始め、各理事牧師夫人會員各々處を頒ち、心を協せて、二日間を中心に前後に渉る大活動。只今までに純收入二千二百圓に上り銀婚の御目出度御大典に因みて二千五百圓に達せさせたいと思ひます。涵かに皆様の御同情と感謝致しました。

▽初穗を震災に献ぐ

五月二十三日午前十一時十分の强震に驚く。私共は夕刊によりていとも近き但馬國、豐岡、城崎温泉場と判明致し取敢へずバザーの初穗二百圓を献げんと、百圓を大阪市聯合婦人會へ百圓を大阪朝日新聞社内の全關西聯合婦人會へ寄附致しました。

▽震災地慰問

六月五日辛ふじて時を作り、大阪市の代表といふ事にて一行五人震災地へ向ひました。大阪からは六時間程にて達する距離にて今回

本部日誌抄

五月

▽二日(土) 小崎會頭、久布白幹事横濱文部總會へ出席の爲出張

▽五日(火) 午後より久布白、守屋兩姉文部省へ出頭、一夫一婦の請願をなす

▽六日(水) 全國の教會へ一夫一婦の說教依賴の爲め檄を飛す、滿洲朝鮮地方へは電報を發す

▽七日(木) 午前十一時より東京部會總會、午後三時より理事會開催せらる

▽十二日(火) 久布白幹事フレンド女學校にて講演をなす、夜六時より青山會館にて基督教者社會事業大會開催

林歌子、城のぶ子、十時菊子、渡邊常子の四女史上京

▽十三日(水) 全國社會事業大會に幹部出席

▽十八日(月) 理事會開催

▽十九日(火) 五千圓補足募金の實戰今日より始まる。小崎會頭、川崎理事、小畑姉、久布白幹事城のぶ子姉それぞれ運動に着手

▽二十九日(金) 夜守屋姉南洋ポナペに向け出發、よき航海をいのる

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は爭にも被害地の區域が五里位といふ事にて其中の戸數八千百五十一戸、其中の人口四萬二千七百五十人、

六月六日調査

死　者　三八八名
負傷者　六八一名
行方不明者　三七名

にして全燒半燒全壞半壞等の被害戸數六千三百七十九戸、私共一行も豐岡町の小學校に一泊致しました。

小學校は鐵筋コンクリートで安全なれば救濟本部に宛て、一千八百人の小學生徒は山にテントを張りて組々が別れて林間教授を受けて居りました。城崎町は勿論學校は全滅致しましたが、教育は山にて林間學校を開いて居りました。

▽飛行機と婦人會の活動

廿三日震災のあと二時間程たつと早くも大阪より二大新聞社の飛行機が飛び、夜の十一時には汽車が回復なし近村より食糧を運び、被害者は夜の一飯だけぬきしのみにて夕飯からは諸方よりの惠の食事を戴く事が出來ましたと。

大阪朝日新聞の聯合婦人會はいち早く必要なる物資を送られ、豐岡町の婦人會も立ちて配給等の任に當られ、幹事田中くら子氏等甲斐々々しく立ち働かれて居られました。物資は豐富に與へられて何の不自由もないとの事

▽必要なるは精神の糧

震災地には佛教も天理教も夫々活動致して居られますが、豐岡町にはバプテスト教會の武田牧師ありて、教會は全燒せしが、朝鮮人が大勢飛んで來て荷物を出す手傳をなせしとはうれしき音信であります。今や教會は接待風呂を沸して毎日三四百人の罹災者に精神と肉體を潔むる働きをせられつゝあり。城崎町はこれまで基督教は何の働きもありませんでしたが、鳥取に働かれしミス、コー女教師は熱心の餘り城崎に來られて、望なき人々に福音を宣傳せんと破れしテントの中に粗末な寢臺を据ゑて、灰燼の中に働かる。其上を祈らずには居られません。

▽禁酒の宣傳

は殊にかゝる場合には大切であります。惠まるゝ儘に避難の假住居に晩酌な傾け、市中にも酒醸造の廣告も見え見舞に來た人に被難者からおみやげにビールを送るといふ樣な事を目撃して、我國のこれまでの習慣上知らずにする行爲とは思ふも、一昨年の關東震災といひ今回の震災といひ考へればならぬ場合なれば、私は城崎町の青年に向つて、城崎温泉

六月

▽一日(月)　ホームに於て理事會開催
▽三日(水)　全國常置員に辭令發送
▽四日(木)　午後一時より東京部會役員會開催、山陰震災の義金の爲め金をあつめて山陰部會長城のぶ子氏へ送る事に決す、出席者、根本、松宮、山東、久布白、岡部、
▽十日(水)　午後よりガントレット副會頭、三崎會館にて講演をなす

本部だより

▽第廿九回(臨時)理事會五月七日婦人ホームに於て開催

出席者　小崎千代、井深花子、古田とみ子、久布白落實、ミセスボールス、川崎正子、淺田みか子、守屋東、宮川靜枝、ガントレット恒子

相談事項

1、募金の件に就て
2、他雜件

▽第卅回(臨時)理事會、婦人ホームに於て

出席者　ガントレット恒子、井深花子、淺田みか子、宮川靜枝、川崎正子、久布白落實

會頭不在の爲めガントレット副會頭議長席

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

場よ「雷き高尚なる温泉場に復興せられよ」と哭ぬも申ました。

忠實なる大嶽節子保姆の永眠

六月六日震災地よりかへれば、博愛社は大騒ぎ、五月廿八日より肺炎に罹り大阪病院に入院中一旦病氣輕快に向ひ、先づ安心と私も旅行に出でたるに歸るを待たで腦溢血を起して六日午後二時永眠されしとの事。

▽二十八年の勤續

素より大家族なれば、喜びも悲しみも數多き中にも大嶽節子保姆は、明治三十一年九月牧師なる良人を失ひて二人の男兒を抱へ、長男を東京に遣して次男三才を伴ひて博愛社へ來られ、積重れるぼろは呑み盡されと私が申しました樣に衣服の整理をなし、乳兒を絶えず哺育なし、一昨年夏乳兒園が建つるや其中に身を投じて、周圍に乳兒なめぐらして其中の寢臺に身を横たへ、明ても暮ても骨の折る乳兒の世話。

▽表彰さる

少年の働きは其手にかけし子供が成長なして、此間も最も愛せし青年男女二組が東京と大阪にて結婚の式を擧げ、いとも滿足の笑を見せ感謝に滿ちて最後の地上生活に終を告げました。昨年一月

皇太子殿下御成婚の節には小橋社長夫妻と共に表彰されて金一封と(二百圓)銀盃を賜はり、五月十九日大阪へ行啓の際には、博愛社へ遣はされ給ひし侍從牧野子爵は親しく乳兒園の實況を見そなはし給ひ、府廳に於ては社會事業功勞者として拜謁を賜りました。

▽出身者の肩に

六月九日は天氣も晴れて博愛社内の教會は黑布して嚴かに飾られ、名出監督を始め諸聖職によりて埋葬式は執行され、中川大阪府知事閣下より花環と弔辭を送られ、大阪毎日新聞本山社長始め社會事業團體等より花環や弔文を送られ、式が終るや出身者青年の肩にて火葬場に送られ、片時も子供達の側を離れじと熱愛を籠めし親切なる大嶽保姆の靈は天に召さる。

一粒の麥と朽ちざる光榮ある生涯、多くの實を結び其精神を受繼ぐもの ゝ起らん事を。

大正十四年六月十二日誌す

に就く

相談事項

1、上海の幼年勞働禁止に對し、矯風會としても其運動に贊助する事

2、守屋氏の南洋行きに對して相談

3、募金に就て

▽第卅一回理事會、婦人ホームに於て開催

出席者　小崎千代、ガントレット恒子、渡瀨かめ子、宮川靜枝、久布白落實、ボールス、守屋代山内輝子

相談事項

1、萬國大會への代員に就て

2、特別平和運動への參加に就て

3、募金に就て

4、常置員會開催に就て

5、滿洲朝鮮巡回訪問の件

365

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

活動

奥支部

△四月三十日　午後一時中ホームに於て臨時常置員會を開き大會の報告及左の事項に就協議せり。

一、義務金値上に就て　一、五錢袋を拾錢袋となす件　一、全國支部の總會を一月二月の期間に開く事に付て　一、當支部は以後總會を正月中になし親睦を兼ねたる集會となす事　一、本年の總會を五月六日になす事　一、選擧委員を三名指定し置く事、竹内貞女、風間千枝子、米山英代子の三姉一、各教會の牧師をお招ぎする事　一、食事係は岡田あや子、山崎きく子、藤田よし子、宮崎岱子の四姉　一、接待係は中塲末子、風間千枝子、古市やま子の三姉　一、會場係は瀬崎まきの、小野やす子、風間千枝子、竹内貞女の四姉　出席者は會長外七名

△第二十四回總會記錄

時　五月六日午前十時より午後四時まで

場所　下山手町軍人ホームに於て

總會プログラム：一、永眠者の追悼　二、役員各部長並に大會出席者報告　三、役員選擧　四、正午の祈り　五、會食親睦（テーブルスピーチ）六、協議會

記事

午前十時開會　　司會者　十時菊子

讃美歌―三五　聖書―詩篇ノ一四六新禱―左の永眠者に對し鄭重なる追悼をなせり。木村よし子（九月十五日永眠）長谷川秀子（十一月十五日永眠）永井よし子（四月十四日永眠）

殊に最近會長金澤の大會より歸與の朝永眠せられし永井よし子夫人は奥矯風會創立最初の會員にして忠實熱心なるよき會員なりき心から夫人の永眠を惜みたり此の追悼會に永井氏も出席せられ一場の御挨拶あり逝たるよし子姉に代りて生涯矯風會員たらむことを申出られよし子姉永眠記念として金五十圓を會に寄附せられたり一同故人の德を思ひ涙に咽ぶ讃美歌三四四を歌ひ則末副支部長の追悼の祈禱を以て閉會す次に、一、書記報告　和田仙子

會長書記の報告に異議なきやを問ふ則末なほ子の動議提出宮崎岱子の賛成あり　一、會計報告中塲末子　精細なる謄寫板ずりの報告書を百部以上も持參せられ一々明細なる報告ありたり。一、風俗部報告　則末なほ子

五錢袋に就て　某女（救濟せる）の手紙　某女の母の手紙　竹内貞女　一、修養部報告十時菊子　小笠原姉轉任せられしを以て

一、教育部報告瀬崎まきの　一、交際部報告小野やゑ子　一、財務部報告中塲すゑ子

禁酒ポスター及防水布等に付て

會長各部の報告に對し異議なきやを問ふ二三の質問ありて　和田仙子受入動議提出中塲すゑ子の賛成により各部の報告受入可決す。

役員の改選

選擧委員として常置員會は左の三名を指定せり　竹内貞女　風間千枝子　米山英代子

書記會員の點呼をなし選擧に移る會計書記の選擧は時間の都合上午後となし又各部長に就ては會長の指定となし風間千枝子正午の祈に合せて議事の大半終了せる事を感謝しそれより食堂に入り一同樂しき食事をなす三牧師並に會長のテーブルスピーチ等ありて午後二時再び階上に於て大會報告あり

第一日を竹内貞女報告す　第二日目を則末なほ子　第三日目を宮崎岱子報告をなす

協議會（可決せるもの）

一、會費値上の件に付て

從來の拾錢會費を二拾錢となしたる事

一、大會規定に從ひ各支部の總會を正月二月の間に於て開く事

一、會員各自の誕生日献金に就て

出席者　三十四名

△五月十一日改選せられたる役員並に部長の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

氏名左の如し

會　長　十時菊子
副會長　竹内貞女
會　計　米山美代
書　記(通)　和田仙子
書　記(記錄)　石原とみ
家庭部長　風間千枝
副　石原君子
風俗部長　則末なほ
副　宮崎ため
交際部　小野安子
修養部　丸山とみ
社會部　澤野田鶴
副　北野絲子
教育部　瀬崎まきの
副　大澤けい
法律部　中場末子
財務部　竹内貞女
少年部　未定
廢酒部　ホワイトヘッド
副　川添さち

△五月十三日　大阪支部主催のバザーに應分の寄附依頼ありし爲當支部に宮島シャモジを寄贈せり

△五月十六日　午後二時より軍人ホームに於て常置員會を開く竹内副支部長の祈を以て開會す

議事　久留島氏講演會に對する後援の可否

決議　他の婦人會と共に後援をなす事に可決

諸方氏の祈禱にて閉會す

當日出席者　六名

△五月廿六日　海軍々人ホームに於て午後二時より但馬地方大震災に就て臨時常置員會を開き左記の件を決議す

一、五月廿九日に會員總出にて金品を集める事　但午前九時午後一時に軍人ホームに集る事

二、出席不可能の方は六月三日迄に寄附の金品を軍人ホーム迄屆けられ度き事

三、募集の金品は大阪朝日聯合婦人會を通して寄贈する事

四、罹災地に近き四ヶ所の矯風會に向つて當支部はオサワリナキヤと見舞の電報を送る事

當日出席者　八名

△六月三日　募集金品の〆切日に付き早朝より整理の爲めに働く

集りし人　十三名

午後募集金品送達方法に付いて相談ありたり

一、物品は朝日新聞社を經て送る事

二、金員は大部を市役所の社會課を經て送り一部はバプテスト教會に見舞金として送る事に決す

翌日左の通り送附方を依托す

一、物品大小　三百四十九點

一、金　二百三圓二十五錢

盛岡支部

△五月廿一日午後二時より、下ノ橋町日本キリスト教會にて、佐藤たつ子姉司會のもとに例會開催、諸報告並に土田牧師の婦人の修養と題するお話ありき、出席者廿名

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

September first, the anniversary of the earthquake disaster as special national temperance and prohibition days, and (2) the petition for a measure granting local option off the alcohol question in cities and prefectures. At present the liquor traffic is under the control of the Imperial Government.

(During the discussion of the temperance problem, by request of several of the delegates, Mr. Mark R. Shaw was asked to speak in interpretation of the prohibition movement in America, especially in regard to the present situation. He gave a brief summary of the moral, scientific, sociological, industrial, and economic factors back of the movement, the methods by which it had been graduatly accomplished, and the outstanding social gains that have been already realized even in spite of the difficult problems of the present transition period).

While Japan is still a very long way from prohibition, and the consumption of both sake and beer is rapidly increasing, this action by a group of leading social workers is very significant, and indicates that the people are awakening to the vital importance of the alcohol problem. (Mark R. Shaw, 3 Aoyama Gakuin, Tokyo).

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

JAPAN NATIONAL CONFERENCE OF SOCIAL WORKERS URGES ADVANCE TEMPERANCE MEASURES

The SEVENTH NATIONAL CONFERENCE OF SOCIAL WORKERS, hele in Tokyo, May 13 to 16, under the auspices of the Central Social Work Association, with the active support of the Social Bureau of the Home Department of the Government, gave considerable attention to the temperance problem. There were over 1,700 delegates present representing practically every branch of social welfare work.

Except for the opening and closing sessions, the conference was divided into six sections for the consideration of various problems as follows:

(1) Child Weltare.
(2) General Cultural and Moral and Social Reforms, including temperance.
(3) Economic matter, housing, employment, public markets.
(4) Health and Sanitation.
(5) Relief work.
(6) Administration and methods oi social work.

The second section, including about four-hundred of the delegates, after careful consideration of various measures submitted by the National Temperance League and other temperance leader, passed by practically unanimous vote the following four recommendations, which were later approved by the entire conference in general session:

1) The revision of the present Juvenile Prohibition Law, raising the age from 20 to 23 years. This would make the include practically all students and those in the military service. (To the Imperial Diet).

2) The blacing of scientific temperance teaching in the text books of the primary schools. (To the Department of Education).

3) The prohibition of the use of alcoholic drinks in all school buildings. (To the Minister of Education).

4) The appointment of commissions for the careful study of the social aspects of the alcohol problem in Japan. (To the Department of Education and Interior).

Other suggestions made by some delegates, the not formally adopted by the conference, were (1) the naming of *April first*, the anniversary of the proclamation of the Juvenile Prohibition Law, 1922

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Taken from "Inaccurate Pictures," an article written by Dr. A. Neville J. Whymant for "The Japan Advertiser." March 24, 1925.

GEISHA LITERATURE

Another point which needs attention is the endless stream of "geisha literature." Foreigners seem unable to avoid the subject and when they plunge, it is, in their ignorance, to rhapsodies. To quote from the impressions of the American flyers; "Then a tiny table of lacquer was placed in front of each of us by very pretty geisha girls assigned to serve and entertain us. All of them were demure, charm ing, laughing-eyed, 16-year-old maidens." Much worse than this can be turned up in almost any tripper's book on Japan. If only the soul-destroying sordidness of the geisha system could be broadcast to the world, if only an epic could be published concerning the Yoshiwara on September 1, 1923!

These people who write and chatter so freely on the geisha should be made to learn and understand some of their songs; many of them act like corrosive acid on sensitive flesh, but worse than this, they show us a soul in torment. Books of geisha songs can be bought very cheaply; if you would write of these poor creatures, write something of what they themselves reveal of their own lives and aspirations; we will presume that they know more of the matter than the casual visitor. One need not take too seriously even the remark of a member of the Diet who declared before the House recently that this system in Japan was better than the promiscuous system in vogue in Western lands. Underlining an error does not change its nature; naturally the whole business is wrong, West or East, but as a correspondent, commenting on the above quoted remark writes: "There is no buying and selling, no coercion save that of blind circumstance" in the Occidental method; "nor is it made a matter of State revenue." The brilliance of a geisha's clothes, the sweetness and charm of her behaviour, can not hide the agony of her soul, nor can paint and perfume hide the decay of her western sister.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

編輯室から

◇夏もたけて、今は青葉の濃い緑に何處もかも包まれてゐます。もう七月か！　と、かう輕い喘息さへもらしたくなります。

◇矢島先生は、たうとういけませんでした、先生は、美しい草花の多い時にお眠りになりましたのです、先生の昇天を飾る清らかな草花！　それは殘さるゝ者の心と共に先生への何よりの捧物です。

◇七月號はそれやこれやで大變おくれて、讀者の皆樣にすまない事をしたと存じて居ります。然しやむない事情のあつたとと御許しを願ひます。

◇矢島先生の記念號は九月號にしたいといふ大體の意向でありますこれには出來る丈け多くの原稿を得たいと存じますから、讀者會員の方々で先生に關する感想なり、挿話なり、その他何か御書きになりたい方々は、四百字詰原稿紙二枚以內に認めて、本誌編輯部宛に御送り下さい。取捨は編者に委せて頂くこと。七月末締切。

會計から

もう七月です、御記憶下さつてゐることゝは存じますが、御忙しい方々だからと思つて、念を入れて、御送金お願ひの手紙を皆樣に御送りしました。どうぞ御忘れ下さらぬやうにと、これは會計からの折入つての御願ひでございます。

消息

◇矢島楫子女史　六月十六日午前一時十分平安に永眠さる。

◇林歌子、十時菊子、佐々木氏子、渡邊常子の諸氏矢島先生葬儀出席及びその準備のために上京さる。

◇守屋東氏　無事南洋ポナペに六月廿三日着の由。

◇山室軍平氏　近く渡英さるゝ由にて六月廿四日青山會館にて送別演說會あり。

◇松本米吉氏　永らく英國にあつて實業界に活躍されし同氏終に永眠されし由六月中旬來電。

社告

婦人新報定價

一部二十錢郵税五厘
半年分一圓二十錢
一年分二圓四十錢　郵税共
(但し海外は郵税別)

◇廣告御希望の方へは詳細お知らせ致します。

◇送金は凡て振替が便利でございます。

◇誌代は前金、切手代用は一割增。

編輯及事務所婦人矯風會本部
振替口座東京三二四六九
電話四谷六五六〇番

大正十四年七月八日印刷
大正十四年七月十日發行
發行兼印刷人　小崎千代
編輯人　久布白落實
發行所　東京市外大久保百人町三百六十番地　婦人新報社
印刷所　東京市小石川區久堅町百八　株式會社博文館印刷所

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矢島楫子記念號について

去る六月十六日やすらかに永眠された矢島先生を偲ぶために九月號をその記念號にあてることになりました。世界に廣く友達をもたれた先生には、かくれたところにかくれた友達があり、又かくれた逸話などもあることと思はれます。もはや先生の記念號にはぜひ出してほしいとて原稿を送って寄越された方々もあります。さうしてみれば、先生を思うて何か一筆でも認めたいと思ふ方もあらうかと、斯くは廣く皆樣の御寄稿を待つ次第です。

規定

(一)募集原稿は矢島先生に關する感想――どの角度から見たものでも構ひません。又逸話も歡迎します。
(二)締　切　七月三十一日
(三)四百字詰原稿紙二枚以內のこと
(四)東京市外大久保百人町三六〇、婦人矯風會內婦人新報編輯部宛のこと

◇掲載の分には記念品を贈呈します。
◇原稿は必ず楷書にて認められたし。
◇矢島楫子記念號を特に御註文の方は至急お知らせ下さい。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA